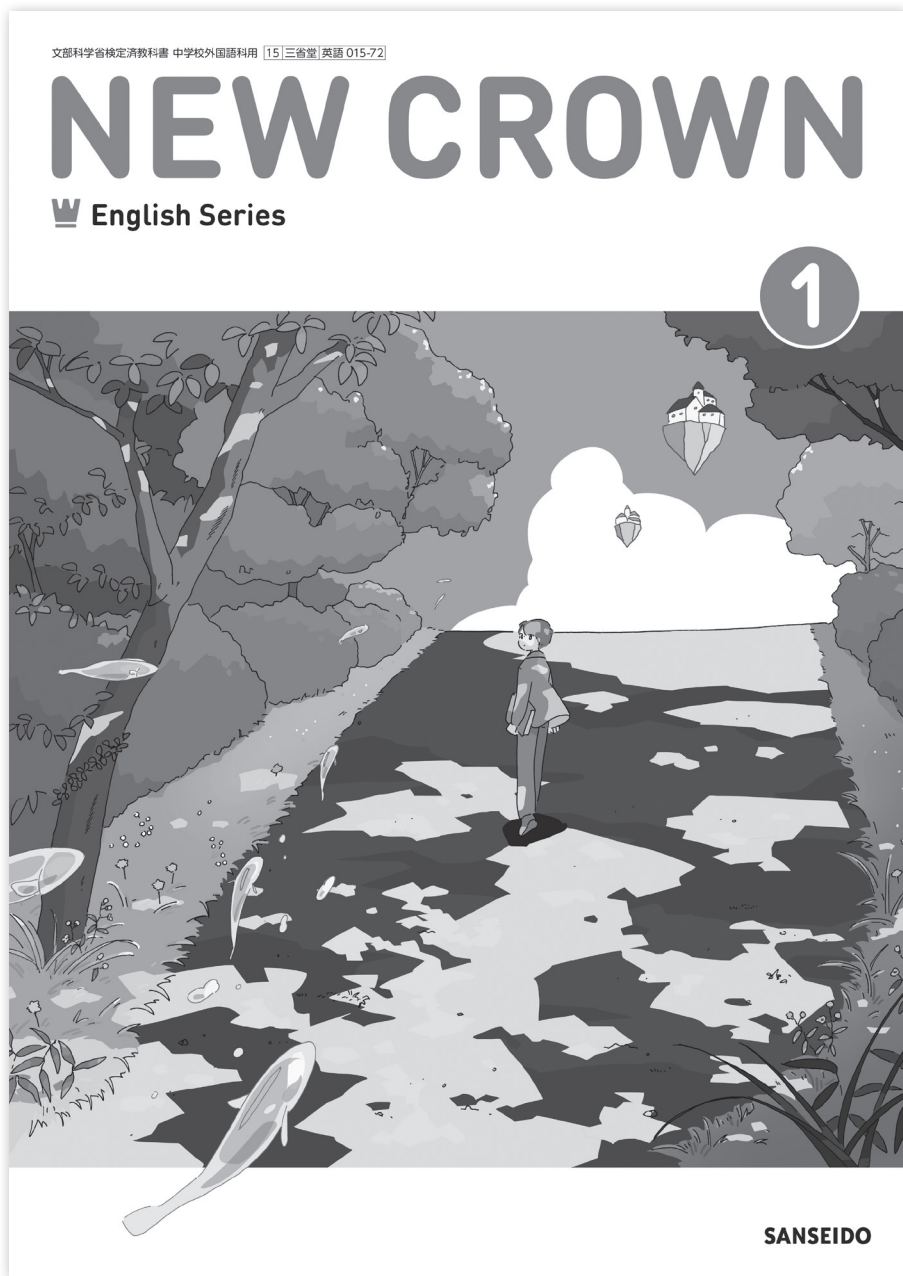


NEW CROWN

教師用指導書ダイジェスト



ウェブサイトも
ご活用ください!



<https://tb.sanseido-publ.co.jp/07ncpr/>

SANSEIDO



ラインナップ	2-3
② 解説・評価編	
概要	4
見本ページ	5-19
③ ワークシート 基礎・基本編	20
④ ワークシート 教科書活用編	22-23
⑤ ワークシート 補充活動編	24-25
⑥ 授業案編	
概要	26
見本ページ	27-29
⑦ 指導用データ DVD-ROM	30
ことまな学校サポートサイト	31

NEW CROWN 教師用指導書 (Teacher's Manual)

1 総説編

NEW CROWNの全体像がわかる!

教科書の編集方針や、構成と使い方を解説しています。内容は3学年共通です。

主な掲載事項

- ・編集方針
- ・Can-Do リスト
- ・教科書の構成
- ・[パート別] 目標と評価規準例
- ・授業展開例
- ・文構造・文法事項一覧
- ・評価について

など

pp.4 ~ 19

2 解説・評価編

授業準備をするならこの1冊!

レッスンやパートごとに、指導のポイントや解答例、評価方法などを示しています。

主な掲載事項

- ・単元目標・単元計画
- ・解答例
- ・文構造・文法の解説
- ・本文の日本語訳
- ・題材の背景知識
- ・スクリプト
- ・語句・表現の解説
- ・指導のポイント

など

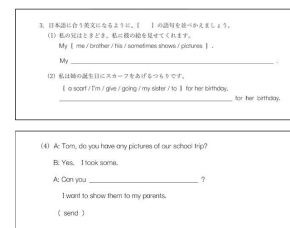
pp.20 ~ 21

3-5 ワークシート各種

コピーしてそのまま使えるワークシート!

③ 基礎・基本編

教科書で扱っている言語材料を練習、確認するための問題をまとめました。



pp.20 ~ 21

④ 教科書活用編

教科書の活動にあわせたワークシートです。補充のタスクも掲載しています。



pp.22 ~ 23

⑤ 補充活動編

教科書とは別に、補充の活動やアクティビティを行う際に活用できます。



pp.24 ~ 25

6 授業案編

具体的な指導を提案!

各単元の具体的な授業展開例や指導の留意点を紹介しています。

主な掲載事項

- ・単元目標
- ・スローラーナーへの支援
- ・本時の目標
- ・発話例
- ・指導手順
- ・補充発問
- ・指導の留意点

など

pp.26 ~ 29

7 Teacher's Book (朱書)

指導書のエッセンスを抜粋!

授業に必要な解説やスクリプトを、教科書の紙面に重ねてコンパクトに収録しています。



紙面の見本はこちらから

p.30

8 指導用 データ DVD-ROM

加工して使えるデータが豊富!

授業で活用できるさまざまなデータを収録しています。

主な掲載事項

- ・テキストデータ (教科書本文、日本語訳など)
- ・イラストデータ
- ・リスニングタスクの音声
- ・単語リスト
- ・ワークシート③~⑤のデータ
- ・年間指導計画資料

など

p.30

9 指導者用デジタル教科書 Lite

教科書紙面の拡大縮小と音声再生などの機能、本文、新出語句・表現、リスニングタスクの音声をご利用いただけます。

⑨のデータは、「ことまな学校サポートサイト」からダウンロードすることもできます。



レッスンやパートごとに、指導のポイントや解答例、評価方法などを示しています。

構成・掲載事項

単元全体のとびら

単元の題材や場面設定、「単元を通して生徒に身につけさせたいこと」を解説しています。 → p.5

単元計画

「単元目標」と、その目標に向かって各ページで具体的に指導することを提示しています。 → pp.6～7

評価

各単元の3観点別の「評価規準」、「評価方法」、「評価基準」の例を掲載しています。 → pp.8～9

文構造・文法の解説

基本文で扱っている文構造・文法の解説です。 → pp.10～11

題材

単元で扱っている題材の解説です。 → pp.12～14

ページの解説 (2年Lesson 5 とびら、Part 1)

→ pp.15～17

指導のポイント …… 教科書の内容の意図や、指導時の留意点を解説しています。

場面設定 …… 本文や言語活動の場面や状況を解説。

基本文 …… 各Partの基本文の指導のポイントを解説。

音声指導 …… 本文の発音に関する留意点などを解説。

Tips for Goal ActivityやTake Action!など、思考力・判断力・表現力に対応した言語活動について、領域に関わる指導のポイントを解説。

日本語訳 …… 文字出しされている本文の日本語訳です。

写真・イラスト …… 教科書に掲載している写真・イラストの解説です。

解答例 …… 各タスクの解答例です。

スクリプト …… ExerciseやTake Action! Listenなどのリスニングタスクの音声台本です。

語句・表現の解説

本文などで使われている語句・表現について、使い方や用例、類語、語源、文化的背景知識などを、必要に応じて解説しています。 → pp.18～19

Visiting Australia

教科書 pp.57-65
配当時間 8時間



Lesson 5 に入る前に…

題材・場面設定

本課では、オーストラリアやウルルルについて関心を高めながら、自分が住んでいる町や地域にどんな魅力があるか、海外の人にそれを伝えるにはどう工夫するとよいか考えさせたい。

Part：陸が、ケイトの話を聞いたり、ケイトのおば(ベティ)のオンラインツアーに参加したりする中で、オーストラリアやウルルルについて学ぶ。

Goal Activity：ベティの動画を見て、自分が住んでいる町や地域の魅力を伝える動画を作る。

この Lesson を通して身につけたいこと

言語材料

Part 1 で扱われている「SVOO」は、他動詞が「間接目的語」と「直接目的語」をとり、動詞の動作が向かう先と、動作が及ぶ対象を表す文型である。教科書の基本文ではshow、Exerciseではgiveに動詞を限定して、まずは2つの目的語をとる文構造を導入する。二重目的語をとることができる動詞と、そうでない動詞があることをふまえて、ほかに使える動詞を紹介し、あとに自己表現につなげたい。

Part 2 の「SVOC」は、動詞のあとに主語を説明する語句を続く文構造である。SVOOの文構造と語順が似ているため、使われる動詞などに留意して指導したい。

なお、Side Storyでは、〈how + to + 動詞の原形〉が扱われている。

文構造・文法の解説

言語活動

本課のGoal Activityでは、住んでいる町や地域の魅力を紹介する動画を作る。おすすめする場所やイベントの基本情報に、そこでできることなどの詳細な情報をつけ加えて、まとまりのある内容を話せるようにする。観光客を招致することが目的なので、伝え方や見せ方も工夫できるとよい。なお、本課のSmall Talk Plusでは、「町でおすすめの場所」についてやり取りする。ここで話した内容を、Goal Activityで生かせるとよい。

Goal Activity

単元計画

単元目標

- ◎ **Goal Activity** 海外からの旅行者に町や地域を訪れてもらうために、おすすめの場所やイベントについて、複数の詳しい情報をつけ加えながら、まとまりのある内容を話すことができる。
- **Small Talk Plus** 話し相手と会話を続けてよりよい関係を築くために、聞き手が理解しやすいように伝える順序を工夫しながら、トークテーマについて即興で伝え合ったり、質問に応答したりすることができる。

Can-Doリスト pp.10~20
①総説編 pp.64~65

単元の流れ

	とびら	Part 1	Part 2	Side Story	Small Talk Plus	Goal Activity
言語材料の指導		〈動詞 (show など) + A + B〉 ●基本文で示された言語材料の特徴や決まりを理解する。 → Scene 1 / Check ●基本文で示された言語材料を用いて、話の内容を聞き取ったり、誕生日に贈るものについて話したりする。 → Exercise	〈動詞 (call, make など) + A + B〉 ●基本文で示された言語材料の特徴や決まりを理解する。 → Scene 1 / Check ●基本文で示された言語材料を用いて、話の内容を聞き取ったり、自分の気持ちについて話したりする。 → Exercise	〈how + to + 動詞の原形〉 ●〈how + to + 動詞の原形〉を用いて、自分のことについて話す。 → Exercise	●場所の説明などにまつわる語句 ●既習の語句や表現を用いて、即興で話す。	●施設などにまつわる語句 ●既習の語句や表現を用いてまとまりのある内容を話す。 ●適切な場面・文脈で、SV00 や SVOC を使う。
言語活動の指導	Small Talk Plus に向かって ▶▶▶ ●既習の語句や表現、やり取りの Tips を用いて、即興で話す。 → Small Talk Part 1 旅行に行ってみたい国 Part 2 旅行先でしてみたいこと				○ Small Talk Plus ●トークテーマについてやり取りする。 トークテーマ Where is a good place to visit in our town? Tips! 聞き手が理解しやすいように、話す順序を工夫する。	Goal Activity に向かって ▶▶▶ ●オーストラリアについて動画を見る。 ●単元の目標を確認する。 ●英文を読んで、名所を紹介したり、何かを提案したりするときの表現を学ぶ。 → Listen & Read ●海外から日本に来た旅行者に紹介したい場所について話す。 → Think about Yourself ●英文を読んで、名所をリポートしながら紹介するときの表現を学ぶ。 → Listen & Read ●身近にある建物や場所にどんな愛称がついているか話す。 → Think about Yourself
配当時間		2	2	1	1	2

★ Goal Activity

★町や地域の魅力を伝える動画を作る。

目的・場面・状況に応じるための工夫

構成 ・おすすめする場所やイベントの基本的な情報を整理する。
 ・その場所やイベントでできることなど、詳しい情報をつけ加える。

表現 ・町や地域について知らない人に魅力が伝わるように、語句・表現の使い方を工夫したり、説明を補足したりする。

★単元をふり返る。

見本ページ ②解説・評価編

Lesson 5



☑ 評価

※評価計画を作成する際は、学期や年間ごとの中長期的な指導計画に合わせて、5領域を総合的に評価できるよう、取捨選択してご活用ください。

知識・技能

評価規準例

	知識	技能
聞くこと	▶<動詞 (show など) + A + B> や <動詞 (call, make など) + A + B> の特徴や決まりに関する事項を理解している。	▶<動詞 (show など) + A + B> を活用して、誕生日プレゼントについて話された文の内容を聞き取る技能を身につけている。 → Part 1 : Exercise ▶<動詞 (call, make など) + A + B> を活用して、アメリカの州の愛称について話された文の内容を聞き取る技能を身につけている。 → Part 2 : Exercise
読むこと	▶<how + to + 動詞の原形> の意味や働きを理解している。	▶<動詞 (show など) + A + B> などを活用して、ウルルの観光などについて書かれた文の内容を読み取る技能を身につけている。 → Part 1 : Scene 2 本文 ▶<動詞 (call, make など) + A + B> などを活用して、ウルルについて書かれた文の内容を読み取る技能を身につけている。 → Part 2 : Scene 2 本文
話すこと [やり取り]		▶誕生日に贈るものについて、<動詞 (show など) + A + B> などを用いて、事実や自分の考えを伝え合う技能を身につけている。 → Part 1 : Exercise ▶作り方や演奏の仕方を知っているかについて、<how + to + 動詞の原形> などを用いて、事実などを伝え合う技能を身につけている。 → Part 3 : Exercise
話すこと [発表]		▶自分がどんなときにどんな気持ちになるかについて、<動詞 (call, make など) + A + B> などを用いて、事実や自分の考えを話す技能を身につけている。 → Part 2 : Exercise
書くこと		▶誕生日に贈るものについて、<動詞 (show など) + A + B> などを用いて、事実や自分の考えを書く技能を身につけている。 → Part 1 : Exercise ▶自分がどんなときにどんな気持ちになるかについて、<動詞 (call, make など) + A + B> などを用いて、事実や自分の考えを書く技能を身につけている。 → Part 2 : Exercise ▶作り方や演奏の仕方を知っているかについて、<how + to + 動詞の原形> などを用いて、事実などを書く技能を身につけている。 → Part 3 : Exercise

評価方法・評価基準例 (「知識」と「技能」を同時に評価する場合)

●聞くこと・読むこと

評価方法	Exercise Listen [Scene 2 本文] と同様の長さ・内容で、当該の言語材料を含む文を読み「読み」、その内容についての問いに答えさせ、その出来を評価する。
評価基準	A: 8割以上が正解 B: 5割以上が正解 C: 正解が5割に満たない ※割数は任意のものです。評価タスクの内容や数に合わせて変更してください。

●話すこと [やり取り/発表]・書くこと

評価方法	当該の言語材料を含む文を使って、Exercise Talk/Speak と同様の話題について即興で伝えさせ「即興で話させ/正確に書かせ」、その出来を評価する。
評価基準	A: 8割以上が正解 B: 5割以上が正解 C: 正解が5割に満たない ※割数は任意のものです。評価タスクの内容や数に合わせて変更してください。

思考・判断・表現/主体的に学習に取り組む態度

※「主体的に学習に取り組む態度」は、「思考・判断・表現」と同じ評価タスクを通して評価する。

評価規準例

	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと [やり取り]	話し相手と会話を続けてよりよい関係を築くために、聞き手が理解しやすいように伝える順序を工夫しながら、トークテーマについて即興で伝え合ったり、質問に応答したりしている。 → Small Talk Plus	話し相手と会話を続けてよりよい関係を築くために、聞き手が理解しやすいように伝える順序を工夫しながら、トークテーマについて即興で伝え合ったり、質問に応答したりしようとしている。 → Small Talk Plus
話すこと [発表]	海外からの旅行者に町や地域を訪れてもらうために、おすすめの場所やイベントについて、複数の詳しい情報をつけ加えながら、まとまりのある内容を話している。 → Goal Activity	海外からの旅行者に町や地域を訪れてもらうために、おすすめの場所やイベントについて、複数の詳しい情報をつけ加えながら、まとまりのある内容を話そうとしている。 → Goal Activity

評価方法・基準例

●話すこと [やり取り]

評価方法	Small Talk Plus と同様の目的・場面・状況で、同様の話題について即興でやり取りさせ、その出来を評価する。
評価基準	条件① 既習の Tips! を活用して、会話を継続するために工夫している。 条件② この Lesson で学んだ Tips! を活用して、会話を継続するために工夫している。 A: ①②を満たした上で、詳細に説明している。 B: ①②を満たしている C: ①②とも満たしていない

●話すこと [発表]

評価方法	Goal Activity と同様の目的・場面・状況で、まとまりのある内容を話させ、その出来を評価する。
評価基準	条件① おすすめの場所やイベントについて、複数の詳しい情報 (どこにあるか、何ができるかなど) を述べている。 条件② 読み手が理解しやすい構成や伝え方になるように工夫している。 A: ①②を満たしている B: ①を満たしている C: ①②とも満たしていない

🎵 文構造・文法の解説

Part 1	〈動詞 (show など) + A + B〉	I will show you some pictures.
Part 2	〈動詞 (call, make など) + A + B〉	I am Elizabeth Jones. Please call me Betty. I like this picture. It makes me happy.
Side Story	〈how + to + 動詞の原形〉	I'll show you how to paint with the brushes.

1 動詞 (show など) + A + B

SVOC (主語+動詞+間接目的語+直接目的語) の文構造において、間接目的語は、動詞の動作が向かう先、行き先であり、「…に」と、直接目的語は、動作が及ぶ対象であり、「…を」と訳される部分である。

Amy will give a watch to Koji. I will give him a wallet.

非母語話者の私たちが困るのは、似たような意味なのに、二重目的語をとることができる動詞と、そうでない動詞があることである。例えば tell は目的語を2つとることが可能であるのに対し、report や say は不可能である。

まったく同じ動詞を使った場合でも、直接目的語によっては〈SVOO〉がとれないケースもある。

- *He told me his story.*
- *He told me his adventures.*
- ? *He told me his life.*
- *He told me about his life.*

直接目的語には、名詞や代名詞のほか、that で始まる節や what などで始まる節を置くことができる。

Mark told me that he wanted to go home.

Please tell me who that girl is.

that 節は2年 Lesson 1 で既習なので、取り上げてもよいだろう。what など疑問詞で始まる節は、3年 Lesson 8 で学習する。〈SVOO〉の文構造をとる主な動詞には、give や show, make, tell, buy, teach, cook などがある。

また、〈SVOO〉の文構造をとる動詞は、間接目的語を前置詞句として後置することで、〈SVO+前置詞句〉に置き換えられることがある。このルールに従えば、例えば I will give Koji a book. は I will give a book to Koji. に置き換えられるが、前者は Koji に「何を」あげるのにかにフォーカスがある (I will give Koji a book,

not a wallet.) 一方で、後者は本を「誰に」あげるのにかにフォーカスがある (I will give a book to Koji, not Amy.) という違いがある。つまり、いずれも文末は談話の新情報を表す要素であり、I will give it to Koji. という文脈はあり得ても、I will give Koji it. とはならない。

〈SVO+前置詞句〉の表現は主に、前置詞に to をとる give 型動詞と、for をとる buy 型動詞に分けられる。〈SVO+前置詞句〉の文と、〈SVOO〉の文の交替は、意味上の制約などがからんで起こる文法事象なので、現時点では深追いしすぎないように気をつけたい。

各動詞がどのような構文で使用され、また、どのような前置詞をとるのかについては、今後、各動詞を覚える際に、それぞれの動詞が使われる構文や、動詞と前置詞のコロケーションを意識しながら習得したい (これは〈SVOO〉で使われる動詞に限らない)。

2 動詞 (call, make など) + A + B

動詞のあとに続く語句が主語を説明しているとき、その文構造は SVC (主語+動詞+補語) である。例えば、*She is Sadako.* の She と Sadako は同一人物である。一方、動詞に2つの語句が続き、後の語句が前の語句を説明しているとき、その文構造は SVOC (主語+動詞+目的語+補語) である。例えば、*This is my friend, Thomas. We call him Tom.* の him と Tom は同一であり、*I like this picture book. It makes me happy.* の文では me が happy であると説明している。この文構造を取ることができる動詞は、call, make, name, keep, get などが代表的である。

また、〈SVOO〉の文構造と語順が似ているが、〈SVOO〉では動詞に続く2つの名詞 (目的語) はどちらも動詞の目的語となっており、あとの名詞が前の名詞を説明しているという関係にはない。

We call the dog Pochi.

We gave the dog a ball.

call や make は〈SVOC〉でも〈SVOO〉でも使われる動詞なので注意が必要である。

We called him a taxi.

→ *We called a taxi for him.*

3 疑問詞 (how など) + to ...

〈how + to + 動詞の原形〉で「どうやって…すればいいか」「…の仕方」の意味。動詞の目的語として使われることが多い。〈疑問詞 + to + 動詞の原形〉の表現には、ほかに以下のようなものがある。

what to ... 「何を…するか」

when to ... 「いつ…するか」

where to ... 「どこへ [で] …するか」

題材

題材のねらい

- ◎オーストラリアやウルルについて関心を高める。
- ◎自分が住んでいる町や地域にどんな魅力があるか、海外の人にそれを伝えるにはどう工夫するとうい考えを考える。

◎ オーストラリア

●基礎データ

国名	オーストラリア連邦 (Australia)
首都	キャンベラ
政体	立憲君主制 (元首は英国国王)
国土	769万2,024km ² (日本の約20倍)
人口	約2,565万人 (2020年3月, 豪州統計局)



左上に英国のユニオンジャック、その下に6つの州と準州を示す七緯星（7つに枝分かれした星）が配置されている。右半分に描かれた5つの星は南十字星である。

気候 南半球に位置するため、日本とは季節が逆になる。南極を除き、最も乾燥した大陸であり、雨量が少ない。東部の海岸地域では年間1,200mmの降水量があるが、西部に移動するにつれて少なくなる。平均気温は大陸の最北部で約27℃、最南部で約13℃となっている。熱帯から温帯に分布しているため、温暖である。

言語 公用語は英語。家庭内ではイタリア語、ギリシア語、アラビア語、広東語などを話す人も多い。

宗教 キリスト教徒52%、無宗教30% (2016年、国勢調査)。そのほかに仏教、イスラム教、ユダヤ教、ヒンドゥー教など。

1 オーストラリアの歴史

オーストラリアの歴史は、今から約4～6万年前に先住民アボリジナルがニューギニアから南下し、オース

トラリア大陸に居住したことに始まったと考えられている。その後、紀元前1500年頃にはポリネシア系、ミクロネシア系、インドネシア系などのオーストロネシア語族が東南アジア方面からオセアニア帯に移動・拡散した。当時の大陸の生活は狩猟と採集を基盤としており、金属器を持たず石器時代のままであった。

このような暮らしは、17世紀半ばにヨーロッパ人がオセアニアに進出し始めたことで、大きく変化していく。のちの植民地化につながる主な動きとしては、オランダの航海家アベル・タスマンによるタスマニア島への到達 (1642年) と、英国の探検家ジェームズ・クックによるシドニー郊外への上陸 (1770年) が挙げられる。特に、クックがこの地を英国領と宣言したことは、オーストラリア大陸の長い歴史の中でエポック・メイキングな出来事であった。これにより、1788年には初代総督アーサー・フィリップが第1次移住船団とともにシドニー湾に到来するなど、英国による植民地開拓が本格化していったからである。それはまた、先住民の衰退をも意味していた (次項を参照のこと)。

英国は当初、この大陸を流刑植民地と定め、窃盗犯などの囚人を移送していた。しかし、19世紀半ばに金鉱が発見され、ゴールドラッシュが起こると、自由植民者も数多くやって来て、人口が飛躍的に増加する。その後、19世紀後半に流刑制度は廃止され、6つの自治植民地が誕生した。1901年には各植民地が連邦を結成して内政自治権を獲得した。そして、約40年後の1942年には外交権を取得し、事実上の独立国となった。

この間、オーストラリア大陸で確立されていったのが、白人移民中心の社会構成を目指す白豪主義である。19世紀半ばに中国からの労働者が数多く流入したことで、前述の自治植民地が非白人移民の制限を開始し、1901年の連邦結成後も移民制限法が制定された。人種差別、低賃金労働力の流入への懸念がその主な理由であった。

制度としての白豪主義は1970年代初頭に完全撤廃され、現在では非白人、特にアジアからの移民が急増している。しかし、一部の研究者によれば、白豪主義撤廃の裏には、1960年代頃から英国などのヨーロッパ諸国出身の移民を十分に望まなくなった事情があるという。つまり、オーストラリア国内の労働力不足を補い、経済状態を安定させるために、非白人の移民も受け入れざるを

えなくなったのだ。

そうした理由によるとはいえ、現在のオーストラリアでは、国外で出生して何らかの理由で移住してきた人びとが人口の30%近くを占めるなど、白人・非白人を問わず、広く移民が受け入れられている。多文化主義・多言語主義を国是とするオーストラリア政府にとっては、多種多様な民族が真の意味で共存できる社会を作り上げていくことが、目下の急務となっている。

2 オーストラリア先住民

オーストラリア先住民は通常「アボリジニ (アボリジニー)」や「アボリジナル」と総称される。これらは先住民一般を意味する英語 aborigine, aboriginal に由来している。なお、近年「アボリジニ (アボリジニー)」は差別的な響きが強いとして「アボリジナル」「オーストラリア先住民 (Indigenous Australians)」の使用が好まれる。

1) 歴史

前述したように、ニューギニアから南下して来たアボリジナルが、オーストラリアの最初の人類である。したがって、先住民の歴史はオーストラリア大陸そのものの歴史であるとも言える。

ヨーロッパ人が初めてこの地にやって来たとき、大陸全体の先住民は約100万人であった (諸説あり、30万とも75万ともいわれている)。彼らは300もの民族集団に分かれ、700種類の地域語を含む250種類の言語を話していたという。しかし、ヨーロッパ人による掃討・文化破壊、疫病などにより、多数の民族集団が絶滅し、1920年頃には先住民は7万人にまで激減した。

第二次世界大戦以降、先住民の人口はふたたび増加し始め、2016年には大陸全体で79万人程度にまで回復している。また、都市部で暮らす先住民も増加傾向にある。これらは、ヨーロッパ人をはじめとする他民族との混血、近代医療の発達、政府による新しい先住民政策の導入などの結果である。

1967年には、ようやく先住民に市民権が与えられた。2008年2月、オーストラリア政府は先住民に初めて公式に謝罪した。しかし現在でも、オーストラリア社会で最も迫害され、諸権利を侵されている少数民族であることに変わりはない。貧困にあえぎ、十分な教育を受けられず、根深い偏見によって他民族から見下された結果、路頭に迷い、未来に希望を持てずにいる者も多い。移民

と同様、悠久の昔から住み続ける先住民も幸福感や充実感を持って暮らせる社会を建設することが、この国の最大の課題である。

2) 主な民族集団

一口にオーストラリア先住民といっても、実際には数多くの民族集団が存在している。後述するアナング族以外では、ニューサウスウェールズ州やビクトリア州に居住するクーリー族 (Koori, Kori, Koorie)、クイーンズランド州に居住するミュー族 (Murri, Murree)、ジャブガイ族 (Djabugay, Tjapukai)、そして、ノーザンテリトリーへのビニンジ族 (Bininj) などが比較的大規模な集団である。それぞれ、長い歴史の中で固有の伝統や文化を培ってきたが、どの先住民にも共通しているのは、動植物や土地との一体感であろう。自然との強い精神的なつながりは、彼らの生活の基盤であると同時に、類いまれな芸術作品の着想の源泉でもある。

3) アナング族とその世界観

アナング族は主にウルルやカタ・ジュタ周辺に居住し、Pitjantjatjara 語 か Yankunytjatjara 語 の い ず れ か を 話 す 人 び と の こ と で あ る (英 語 で の 発 音 は そ れ ぞ れ pit-jan-ja-jarra, yan-kun-ja-jarra)。まれに Ngaatjatjarra 語、Luritja 語 と 呼 ば れ る 言 語 を 使 用 す る 人 び と も い る。ここに挙げた言語はすべてオーストラリア先住民の言語集団の中では最大規模の the Western Desert Language (西砂漠言語) に分類される。ちなみに、Anangu と つ づ ら れ る ア ナ ン グ 族 と い う 名 は、Pitjantjatjara 語 と Yankunytjatjara 語 の 双 方 で 「 人 び と 」 を 表 す。また、Uluru は これ ら の 言 語 で 「 大 き な 石 」 を 意 味 す る と の 通 説 が あ る が、実のところ、それは誤りである。ウルル・カタ・ジュタ国立公園内で販売されている資料 (Uluru – Kata Tjuta National Park, 2004) に よ る と、 “There is no literal translation of Uluru. It is a name only, like Sydney, Paris, Rome or Berlin.” (「ウルルにそのものずばりの訳語は存在しない。それは、シドニー、パリ、ローマ、ベルリンと同様、一つの名称にすぎない。’) とのことである。

さて、アナング族のすべての中心となっているのが Tjukurpa (英語での発音は chook-orr-pa) である。Tjukurpa は 日 常 生 活 に お け る 掟 で あ り、人 間 と 自 然 ・ 動 植 物 ・ 土 地 と の 関 係 を 定 め た 法 で も あ る。また、現在

Lesson 5 Visiting Australia

の暮らしだけではなく、天地創造の時代にも言及している。

Tjukurpaは英語でDreamtimeやDreamingと訳され、アナンク族の天地創造の物語があたかも非現実的であるかのように解釈されることが多いと嘆く人びともいる。アナンク族自身は祖先の歴史を語る際にDreamtimeやDreamingという語を用いることはないからである。前掲のUluru - Kata Tjuta National Park (2004)には、“There is not one English word that conveys all the meanings which is why the Pitjantjatjara word Tjukurpa is used in the Park.”(「すべての意味を一語で伝えられる言葉が英語には存在しないため、国立公園内ではPitjantjatjara語のTjukurpaをそのまま使用している。)」と書かれている。

Tjukurpaによる天地創造および自然と人間との関係は次のようなものである。「この世の初めにはまだ地形ができあがっておらず、自然物も存在しなかった。何もない世界から先住民の祖先が現れ、各地を旅し、現在見られる砂漠などの自然の地形や動植物などを創造していった。ウルルやカタ・ジュタも同様である。アナンク族はこの時代に創造された生物の子孫にあたるので、祖先から受け継いだ土地を守り、適切に管理する責任を負っている」(Uluru - Kata Tjuta National Park)。

アナンク族は以上のような教えのもとに、「自然物に祖先の姿を見出す」という世界観を幼少の頃から段階的に身につけていく。また、Tjukurpaは書物などの形で残されることはなく、口承で次世代へと引き継がれていくという特徴を持つ。例えば、人びとに対する祖先の言動や彼らが旅した道程などの詳細は、歌や踊り、儀式によって伝えられるのである。なお、Tjukurpaは専門的な知識や技術のほか、自身の振る舞いに対する責任のとり方にまで及ぶため、アナンク族は一生を通じてそれらを学んでいくこととなる。

4) アボリジナルアート

オーストラリア先住民は何万年もの長きにわたり、ユーカリなどの木を素材として武器や家庭用品を作り続けてきた。特に、家庭用品には、アナンク族の言語でpunuと呼ばれる木彫が施されていて、大変美しい。現在、その技術は芸術に活用され、大小さまざまな彫刻品や工芸品として世に送り出されている。

tjanpiと呼ばれる植物を用いた繊維製品も人気が高

い。これは日常生活や儀式で使用されるサンダル、スカート、ヘッドバンドなどを女性が編むという伝統的な習慣に起源を持つ。punuと同様、この技術も芸術に活かされており、籠や器などが製作されている。

最も有名な芸術としては、絵画が挙げられる。特にロックアート(岩窟の壁に描かれた絵画)は、どの先住民居住跡に行っても見られるだろう。絵画の題材は、天地創造の物語から、各民族集団の領土を示すものまで、実にさまざまである。獲物である動物の骨格や内臓の位置を表すものも残っており、生活の知恵を子孫に伝えるうえで絵画が重要な役割を担っていたことがうかがえる。

近年は現代芸術家による絵画も世界的な人気を博している。祖先にまつわる物語、個人や民族集団のアイデンティティ、人間と自然との関係などを色彩豊かに表現する作品は、芸術として素晴らしいだけでなく、彼らの民族としての誇りを取り戻す原動力の1つにもなっている。

参考文献

- ・小川幸司(監修)『新世紀図説 世界史のパサージュ～宇宙誕生から21世紀へ～』東京法令出版、2005。
- ・杉崎洋一郎(指導)『世界の中学生5 オーストラリアの中学生』学研プラス、2003。
- ・西川長夫・渡辺公三・ガバン・マコーマック(編)『多文化主義・多言語主義の現在——カナダ・オーストラリア・そして日本』人文書院、1997より、関根政美「多文化主義国家オーストラリアの誕生とその現在」(pp.147-164)。
- ・西村依二『世界の子どもたちはいま 12 オーストラリアの子どもたち』学研プラス、2001。
- ・野田一郎(監修)・福生武(文・写真)『世界各地のくらし(9) オーストラリアのくらし』ポプラ社、1995。
- ・松浦直裕『ワンドフル・オーストラリア』鳥影社、2003。
- ・Jock Collins, Migrant Hands in a Distant Land: Australia's post-war immigration, Pluto Press, 1991。
- ・Lor in Hawes & John Mauro, All I about Boomerangs [小林秀文(訳)『ブーメランのすべて』ラングスジャパン、1989]。

【参考URL】

- ・外務省「大洋州 オーストラリア連邦」11/26/20
<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/australia/index.html>
- ・Uluru-Kata Tjuta National Park 11/26/20
<http://www.environment.gov.au/parks/uluru/index.html>
- ・Western Desert Mob
<http://www.westerndesertmob.com.au>

とびら

教科書 p.57



📌 指導のポイント

とびらの写真から、女性がオンラインでオーストラリアの名所などを紹介している様子うかがえる。資料動画などを活用して、どんな場所に行ってみたいか、そこで何をしたいか、生徒たちの想像を膨らませたい。

📷 写真・イラスト

【写真】上 オンラインで観光案内をしている女性。
【写真】左下 コアラ。有袋類の一種で、オーストラリア東部から南東部に広がる森林に生息。森林火災や伐採などによってすみかの森が失われ、絶滅の危機にある。
【写真】下 シドニー・オペラハウス(Sydney Opera House)。シドニーのポート・ジャクソン湾に突き出した独創的な近代建築物で、オペラ劇場やコンサートホールなどが設備されている。
【写真】右下 ウルル。

題材 pp.00~00

🗨️ 解答例

Where do you want to visit? What do you want to do?

- I want to visit France. I want to see the Eiffel Tower.

- I want to visit Asian countries. I want to eat

various kinds of dishes.

- I want to visit Hokkaido in winter. I want to enjoy skiing.

国の名前を英語でいくつ言える？

(1年 p.24 「My Dictionary」)

🗣️ スクリプト

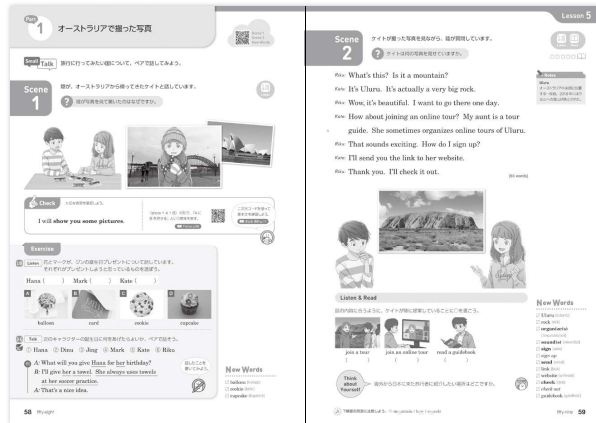
イントロダクション

There are different ways to visit other countries. Going to the country is fun, of course. Taking an online tour is fun, too. The pictures show a tour of Australia. Seeing koalas and visiting the Sydney Opera House are popular. If you want to see something amazing, visit the big rock of Uluru. Animals, cities, and nature. Australia has them all.

Where do you want to visit? What do you want to do?

Part 1

教科書 pp.58-59



見本ページ②解説・評価編

📌 指導のポイント

場面設定

[Scene 1] 8月の夏休みを利用してオーストラリアに帰っていたケイト。そのときに撮った写真を見ながら、ケイトと陸が話している。

[Scene 2] ケイトが見せていた写真について、陸が質問する。ウルルに興味を持った様子の陸に、ケイトが提案をする。

基本文

ここでは、SVOO（主語＋動詞＋間接目的語＋直接目的語）という2つの目的語をとる文構造を導入する。1つしか目的語をとらない〈SVO + to/for ...〉の文と対比し、理解を深めさせたい。また、2つの目的語をとる場合、直接目的語には新情報が置かれることが多い。複数の文を提示し、文脈を作って指導したい。基本文において、旧情報はyou (=Riku)、新情報はsome picturesである。

また、この文構造で用いられる動詞はgiveやshowのほか、make, tell, buy, teach, cookなどを生徒に挙げさせるなどして紹介しておく、今後の自己表現につなげることができる。

2年Language Focus 5（教科書p.66）を適宜参照したい。

本文では、〈SVOO〉の文 (I.3) について、showは前置詞にtoをとるため〈SVO + to ...〉と関連付けて扱いたい。

音声指導

♪ /au/の発音

二重母音/au/を含む単語がいくつか出現する (mountain, how, sounds)。ほかの二重母音とあわせて発音を確認し、違わずつづりでも同じ音になることに気づかせたい。

♪ rの音

“Riku”や“rock”、“tour”などの“r”の音は、日本語の「る」の音とは異なり、下を丸めるようにする。舌を上に着ける“online”や“Uluru”に含まれる“r”との区別を意識する。

♪ It is Uluru.

Uluru：初出の固有名称なので、ゆっくりはっきりと読む。

♪ My aunt is a tour guide.

① aunt：/æ/に強勢を置き、かつ全体に短く発音することを指導する。

② tour：「ツアー」とカタカナ発音にならないように留意する。

♪ How do I sign up?

sign up：gは発音しない。また、2語をつなげて読んで、/sáinʌp/となる。

🗨️ 日本語訳

Scene 2

陸：これは何だろう？山かな？

ケイト：それはウルルだよ。実はとても大きな一枚岩なんだ。

陸：うわあ、きれいだね。いつかそこに行ってみたいな。

ケイト：オンラインツアーに参加するのはどう？私のおばさんはツアーガイドなんだ。ときどきウルルのオンラインツアーを主催しているよ。

陸：それはおもしろそうだね。どうやって参加を申し込むの？

ケイト：おばさんのウェブサイトのリンクを送るね。

陸：ありがとう。確認してみるよ。

🖼️ 写真・イラスト

Scene 1

[写真] 中央 シドニー・ハーバーブリッジ (Sydney Harbour Bridge)。オペラハウスのすぐ横にあり、定番の観光スポットになっている。

[写真] 右 シドニー・オペラハウス。

Scene 2

[写真] ウルル。

📌 題材

🗨️ 解答例

Scene 1「？」

(写真の中のケイトが) コートと手袋を身につけていたから。[Because Kate is wearing a coat and gloves (in the picture).]

Exercise

[Listen]

Hana (D)

Mark (B)

Kate (A)

[Speak]

(教科書の例参照)

Scene 2「？」

ウルル (Uluru)

Listen & Read

() join a tour

(○) join an online tour

() read a guidebook

Think about Yourself

- I recommend Nara. It was Japan's ancient capital. You can see beautiful temples and shrines.

- Wakaba Ninja Park is the best choice. I'm sure many tourists overseas are interested in ninja.

🗨️ スクリプト

Scene 1

Riku: What did you do in Australia?

Kate: I went to my aunt's house in Sydney. We went sightseeing every day. I'll show you some pictures.

Riku: Oh! You're wearing a coat and gloves. Was it cold?

Kate: Yes. It was the middle of winter there.

Riku: Oh, that's right.

Exercise Listen

Hana: Mark, it's Jing's birthday today.

Mark: That's right. Are you going to give her a gift?

Hana: Yes, I baked her a special cupcake.

Mark: A cupcake! That's nice.

Hana: How about you, Mark? Are you giving her a gift, too?

Mark: I tried to make her a big cookie, but I burned it.

Hana: Oh dear.

Mark: So I wrote her a card instead.

Hana: Good idea. Oh, I heard Kate is going to give her a birthday balloon.

Mark: Jing will love it.

Hana: I hope she has a wonderful birthday.

📖 語句・表現の解説

p.57 とびら

▶ Australia

NEW CROWNの小学校の辞袋(辞書)に含まれる。初出は1年p.24「My Dictionary」で、本文はここが初出である。

p.58 Part 1 Scene 1 [スクリプト]

▶ We went sightseeing every day.

① 時制

過去形を用いて、過去に繰り返行われた動作を表すことができる。ケイトがシドニーのおばの家に滞在中、毎日観光をしに行っていたということ。

② go sightseeing

「go -ing」は、もとはgo on -ingでonが省略されたものとされる。そのため、go shopping, go sightseeingの-ing形を動名詞とする見方もある。現在では「go -ing」の形で慣用的に用いられることが多い。

▶ I'll show you some pictures.

英文の意味

showを用いたSVOOの文構造で「…に～を見せる」という表現。2つの目的語をとる場合、後にくる直接目的語には新情報が置かれることが多い。この場合は、some picturesに重点のあるニュアンスとなる。

▶ Oh!

oh

間投詞。「あっ、ええっ、おやまあ」と、驚き、恐怖、失望、苦痛、感嘆、喜び、願望など、さまざまな感情を表すときに用いる。ここでは、ケイトの写真の中に、陸が疑問に感じるものがあつたことを表している。

ohにはこのほかにさまざまな働きがある。以下に例を示す。

・ 何かに、特にそれまで知らなかったことに対して、反応するとき用いる。

I saw Kevin yesterday. — Oh, was he good?
「昨日ケヴィンに会ったよ。」— 「おお、元気だった?」

・ 相手に直接呼びかけるときに、名前の前につける。

Oh, Meg, will you carry this box for me?
「ねえ、メグ、この箱を運んでくれないかしら。」

・ 思い出したこと、思いついたことを述べる前につける。

Oh, I've just thought of a problem.
「ああ、ちょうど問題を思い出した。」

▶ You're wearing a coat and gloves.

① wear

衣服などを身につけている「状態」を表す語。wear a coat and gloves でも「コートを着て、手袋をしている」という「状態」を表すことが可能であるが、その意味をより強調するために、本文のように進行形が用いられることも多い。

You wear a coat.

「あなたは(いつも)コートを着ている。」

You are wearing a coat.

「あなたは(今現在)コートを着ている。」

なお、このwearは衣服だけではなく、帽子や靴、眼鏡などにも使用される。また、着るという「行為」を表したい場合は、put on を用いるとよい。

② gloves

pantsやglassesと同様に、一対のものとして複数形で表す。親指以外が袋状のものはmittenと呼ぶ。

▶ Was it cold?

英文の意味

itは、時間・距離・天候・明暗・寒暖・その他の事情や状態などを漠然と指す非人称主語である。ここではWas it cold (in Sydney)? と補って考える。

▶ It was the middle of winter there.

① middle of winter

「冬の中ごろ(真ただ中)」の意味。middleは、物や場所の中心点を示すcenterとは違い、「事・物・場所の中心(とその周辺)部分」や「両端(側)から等距離の部分」をさす。

なお、mid-winterと表現することもできる。晩冬はlate winterやend of winterと表現する。

② there

シドニー(またはオーストラリア)を指しており、It was the middle of winter in Sydney [Australia]. と言い換えることができる。南半球に位置するオースト

ラリアは、北半球の日本と季節が逆である。日本の夏休みにオーストラリアを訪れたケイトが冬のコートを着て、手袋をしているのはそのためである。

p.58 Part 1 基本文 / Exercise

▶ I'll give her a towel.

give her a towel

give a towel to herとしてもよい。write, show, teachも同様にtoを用いて「SVO+to...」と表現することができる。ただし、make, sing, buyなどはforを用いて「SVO+for...」となるので注意させたい。

p.59 Part 1 Scene 2

▶ It's Uluru.

Uluru

世界で2番目に大きな一枚岩で、オーストラリアのほぼ中央にある。かつてはイギリスの探検家によって名づけられたAyers Rock (エアーズ・ロック)の名称でも呼ばれていたが、1985年に本来の名称であるUluru(ウルル)に改められた。

題材

▶ It's actually a very big rock.

① actually

「実際には、なんと」の意味を持つ副詞。新しい話題に移ったり、相手にとって好ましくないことを導入したりするために、文頭に置くことも可能である。

Actually, I'd like you to do this work.

「実はあなたにこの仕事をしてみたいのですが。」

"Could I speak to Sue?"

— "Actually, she's away till Friday."

「スーと話せますか。」

— 「実はあいに金曜日まで留守なのですが。」

② rock

rock→「岩(大きな石)」、stone→「石(小さな石)」という印象があるが、rockが小さな石を指す場合もある。他の類義語として、pebble(小石)やboulder(丸い大きな石)などがある。

▶ I want to go there one day.

① there

there→ここでは「そこに」「そこへ」「そこで」などの副詞。thereを「そこ」という名詞ととらえたり、移動を表す動詞とセットで用いられることが多い前置詞

toを補って「to there」とする誤りが多い。

*I want to go to there.

② one day

「いつか」という意味。

▶ How about joining an online tour?

online tour

そのままオンラインツアーと訳すことが多い。似たものにヴァーチャルツアー(virtual tour)があるがバーチャルツアーの方が自由に仮想世界で行動できることが多い。

▶ That sounds exciting.

that sounds exciting

sound + 形容詞で～のように聞こえる/思われるなどの相手の提案に対してどのような印象を持ったのかを表現することが出来る。

▶ How do I sign up?

sign up

sign up for Aで「Aに申し込む(登録する)」という意味。類語としてsign inがあるが、これはlog inなどと同じ意味(対義語はsign out)。

I signed up as a user of a computer.

「パソコンのユーザー登録をした。」

I signed in to a computer.

「パソコンにサインイン(ログイン)する。」

▶ I'll send you the link to her website.

I'll send you the link to her website.

① send you the link

send ABで「AにBを送る」という意味。第3文型に直す際には、toを用いてsend B to Aとなる。

② the link to a website

the link to a websiteで「ウェブサイトのリンク」という意味。「ウェブサイトの～」という日本語に引っ張られて「the link of a website」としないことに注意。

「知識活用」は、知識・技能を測る評価課題としても活用できます。



教科書で扱っている言語材料を練習、確認するための問題をまとめました。

Lesson 5 Part 1	Class	No.	Name
<p>1. 日本語に合う英文になるように、() に適する語句を書きましょう。</p> <p>(1) 私は彼女にレッスンバッグを作りました。</p> <p>I _____ a lesson bag.</p> <p>(2) 平井先生は私たちにたくさんのお宿題を与えます。</p> <p>Mr. Hirai _____ a lot of homework.</p> <p>(3) あなたの家族の写真を私に見せてください。</p> <p>Please _____ some pictures of your family.</p> <p>2. 次の各組の英文が日本語の意味を表すように、() に適する語句を書きましょう。</p> <p>(1) Please show me your dog.</p> <p>Please show your dog _____ me.</p> <p>(2) He will give his brother new shoes.</p> <p>He will give new shoes _____ his brother.</p> <p>(3) I got this DVD from Miki.</p> <p>Miki _____ this DVD.</p> <p>(4) Ms. Tanaka is our music teacher.</p> <p>Ms. Tanaka _____ music.</p> <p>3. 日本語に合う英文になるように、() の語句を並べかえましょう。</p> <p>(1) 私の兄はときどき、私に彼の絵を見せてくれます。</p> <p>My [me / brother / his / sometimes shows / pictures] .</p> <p>My _____ .</p> <p>(2) 私は姉の誕生日にスカーフをおあげるつもりです。</p> <p>[a scarf / I'm / give / going / my sister / to] for her birthday.</p> <p>_____ for her birthday.</p>			

Check

基本文を確認する

各レッスンの Part に配置された Check (基本文) に対応した練習用ワークシートです。教科書の単元順に配列されています。

6 動詞+A+B	Class	No.	Name
<p>1. 次の日本語に合うように、() 内から適切な語句を選んで、() に書きましょう。</p> <p>(1) ケイトは彼女に写真を見せました。</p> <p>Kate showed some picture _____ . (Riku / to Riku)</p> <p>(2) 祖父は私にプレゼントをくれました。</p> <p>My grandfather gave _____ a present. (I / my / me)</p> <p>(3) 彼女の歌は私を幸せにします。</p> <p>Her songs _____ me happy. (are / make / call)</p> <p>2. 次の日本語に合うように、() に適する語を書きましょう。</p> <p>(1) 私をマークと呼んでください。</p> <p>Please _____ me Mark.</p> <p>(2) 姉は私にクッキーを作ってくれました。</p> <p>My sister made _____ some cookies.</p> <p>(3) 何が彼をそんなに怒らせたのですか。</p> <p>What _____ him so angry?</p> <p>3. () の語句を並べかえて書きましょう。(文頭は大文字に)</p> <p>(1) 私は彼女にバースデーカードをおあげるつもりです。</p> <p>[I'm going to / her / a birthday card / give] .</p> <p>_____ .</p> <p>(2) 私たちは彼を音楽の王様と呼びます。</p> <p>[we / the king of music / call / him] .</p> <p>_____ .</p> <p>(3) 私は彼女に手紙を書こうと思います。</p> <p>[will write / her / I / a letter] .</p> <p>_____ .</p>			

文法項目別

文法項目ごとに理解度を確認する

教科書で扱う主要な文法項目別の練習用ワークシートです。空所補充や並べ替えを中心とした問題構成で、文法項目ごとに理解度を確認することができます。学習進度に応じて活用できます。

Lesson 5	Class	No.	Name
<p>以下は、友だちとの会話です。会話が成り立つように、() 内の語の形を変えたり、不足している語を補ったりして、() に適切な英語を書きましょう。ただし、() 内の語はそのままの順番で用いること。</p> <p>(1) A: What is your favorite song? B: "Sing". It _____ . A: Really? I'll listen to the song later today. (make / happy)</p> <p>(2) A: How was your summer vacation? B: I visited Hokkaido with my family. I'll _____ . A: Wow, you went to the zoo. I want to go there someday. (show / some pictures)</p> <p>(3) A: What are you going to do for Tom's birthday? B: I'm going to _____ . A: That's a good idea. He'll be happy. (write / a birthday card)</p> <p>(4) A: Tom, do you have any pictures of our school trip? B: Yes. I took some. A: Can you _____ ? I want to show them to my parents. (send)</p>			

知識活用

文脈から適切な表現を選択する

文脈を伴う問題で、目的や場面、状況に応じて知識を活用する力を確認することができます。また、復習用のワークシートでは、それまでに学習した時制の知識を問う問題を扱っています。

Lesson 5	Class	No.	Name
<p>POINT</p> <p>I will give him a wallet.</p> <p>DRILL</p> <p>1. 絵を見て、「彼女に何をあげるつもりですか」という文になるように、() に適する語句を書きましょう。</p> <p>① the card ② the guidebook ③ some cookies ④ some flowers</p> <p>① I will give him the _____ . (私はカードをおあげつもりです。) ② I will give _____ the _____ . (私はガイドブックをおあげつもりです。) ③ I will give _____ some _____ . (私はクッキーをおあげつもりです。) ④ I will _____ . (私は花をおあげつもりです。)</p> <p>2. 絵を見て、「彼女に何をあげるつもりですか」という文を完成させよう。</p> <p>① the pictures ② the magazine ③ the chart ④ the garden</p> <p>① I will show her _____ . ② I will show _____ . ③ I will show _____ . ④ I will _____ .</p>			

Drill

基本文を練習する

Lesson の Part や資料「基本文のまとめ」に掲載している QR コードからアクセスできるデジタルコンテンツ「基本文の練習」の内容を、ワークシートの形で確認できます。

QR コンテンツはこちらから



教科書の活動にあわせたワークシートです。補充のタスクも掲載しています。

例 1年 Lesson 6 School Life in the U.S.A.

とびら

Part 1

Part 2

Lesson 6 (教科書) School Life in the U.S.A. Class ___ No. ___ Name: _____

教科書 写真を見て答えよう。

(1) 写真を見て、どんな場所か推してよ。また、英語で何をしているかを書こう。

Scene 1 (REVIEW)

Scene 1 の音声を見て、(1) を書き、(2) を説明しよう。

Scene 2 カビンの名前を聞いて、(1) を書き、(2) を説明しよう。

Scene 2 の音声を見て、(1) を書き、(2) を説明しよう。

Think about Yourself

(1) 自分が学校でしていることを書いてください。

自分の学校でしていることを書いて、写真を見ながら説明しよう。

Think about It

Scene 2 の英文は、Goal Activity で書けるポイントがたくさんあるよ。

(1) マークが、写真について書いてある文に線を引こう。

(2) マークが、自分の学校について書いてある文に線を引こう。

(3) 自分が学校でしていることを書いて、自分の学校について説明しよう。

At Kevin's school, students choose their own classes. Everyone has a different schedule.

This is a picture of a short break between classes. These students are walking to their next class. The boy is going to his music class. He is holding a flute case. The girl is carrying her gym shoes to P.E. class.

Exercise などのリスニングタスクの音声は、「⑧データ DVD-ROM」に収録しています。



教科書の構成はこちらから



Side Story

Small Talk Plus

Goal Activity

Lesson 6 (教科書) Small Talk Plus (項目追加) Class ___ No. ___ Name: _____

教科書 写真を見て答えよう。

(1) 写真を見て、どんな場所か推してよ。また、英語で何をしているかを書こう。

Scene 1 (REVIEW)

Scene 1 の音声を見て、(1) を書き、(2) を説明しよう。

Scene 2 カビンの名前を聞いて、(1) を書き、(2) を説明しよう。

Scene 2 の音声を見て、(1) を書き、(2) を説明しよう。

Think about Yourself

(1) 自分が学校でしていることを書いてください。

自分の学校でしていることを書いて、写真を見ながら説明しよう。

Think about It

Scene 2 の英文は、Goal Activity で書けるポイントがたくさんあるよ。

(1) マークが、写真について書いてある文に線を引こう。

(2) マークが、自分の学校について書いてある文に線を引こう。

(3) 自分が学校でしていることを書いて、自分の学校について説明しよう。

At Kevin's school, students choose their own classes. Everyone has a different schedule.

This is a picture of a short break between classes. These students are walking to their next class. The boy is going to his music class. He is holding a flute case. The girl is carrying her gym shoes to P.E. class.

Point 1 十分な書き込みスペース

生徒が実際に英文を書いたり、メモを取ったりするためのスペースを十分に確保しました。

Point 2 補充のステップやヒント

教科書を使った授業をスムーズに行えるように、モデルステップで指導するための指示文や補充のタスク、ペンギンのアドバイスなどを追加しました。

Point 3 教科書と共通のイラスト・写真

教科書と共通のイラストや写真を使用しているため、教科書を開かなくても授業が進められます。

Point 4 コピーしてすぐに使える

データを PDF で提供しているため、すぐに印刷して授業で使うことができます。また、Microsoft Word の形式でも収録しているため、生徒の実態に合わせて内容を加工・修正することもできます。

例 Part 1 Listen & Read

Listen & Read 教科書を見て答えよう。

(1) 上の写真の中の生徒たちが向かっている場所を推しよう。

① Boy () ② Girl ()

A B C D

flute lesson gymnastics lesson music class P.E. class

(2) ケVINの学校の時間割にはどんな特徴がありますか。

根拠となる文はどれかな？

根拠となる文はどれかな？



※これらのワークシートは、学校の授業の中で使用・配布する場合に限り、お使いいただくことができます。なお、先の利用範囲内であっても、イラストデータを学習目的以外に使用したり、改変して使用したりすることはできません。※著作権の都合で、掲載できないイラスト・写真がございます。※ Microsoft Word は、マイクロソフトグループの企業の登録商標です。

Microsoft Word/PDF の形式でデータを提供しているため、内容を加工・修正することができます。



教科書とは別に、補充の活動やアクティビティを行う際に活用できます。

教科書の本文や活動と類似した素材（パラレル）

リーディング

Read

From: James Fox
To: My Friends in Japan
Subject: Classes

Hello friends,

Here are some photos. They show my life at school.

This is my music class. I am playing the trumpet. My friend, John, is playing the trumpet, too. We are playing jazz. The class is a lot of fun.

This is a language class. This is my friend, Emily. Is she studying English? No, she isn't. Look at the whiteboard. She is studying Spanish. It is her foreign language. She studies Spanish once a week. Many people in my town speak Spanish.

What classes do you take? What is your favorite subject? Please write to me soon.

Your friend,
James

Goal Activity [Write/Speak] [Read]、Reading Lesson、Take Action! Read と内容や文章構成が類似した英文とタスクです。「読むこと」の「思考・判断・表現」を測る評価課題として活用できます。

例 1年 Lesson 6 Goal Activity に対応

人物	James, ()	Emily
教科	()	Spanish
写真の紹介	- James and () are () the trumpet. - The students () playing ().	- Emily is () Spanish as a foreign (). - Emily studies Spanish () a ().

リスニング

Take Action! Listen 4

Listen

雪の子が何を聞いているか、要旨に行く映画のCMが読めました。

雪の子が何を聞いているか、要旨に行く映画のCMが読めました。

Snow — The Magical Dog (Genre: Fantasy)

登場人物

- ニツクは 雪の狼の子で、大きな雪を肩に背負っている。
- ニツクは 毎日、雪の山に登って、寝て見える。
- ニツクは 夢を見ている。

できごと

- ニツクは公園で、本を 読んでみるのを見つけた。
- 雪の山に 登るのを見つけた。
- ニツクの母親はスノーが 夢を見ている。

Audie Scripts

Scenario

Nick is a 7-year-old boy. He lives with his mother in a big city. His mother works a lot and looks tired all the time. She's worried about the future. He is feeling lonely.

One day at a park, Nick finds a small dog in a tree. He opens it slowly and finds a small white dog inside. It wiggles its tail and follows him home. Nick says, "Your name is Snow." His mother sees the dog. But for some reason, she can't see the dog.

Why can't she see Snow? What happens to Nick? Come to the theater and find out.

Take Action! Listen と内容やスクリプトの構成が類似した音声とタスクです。「聞くこと」の「思考・判断・表現」を測る評価課題として活用できます。

例 1年 Take Action! Listen 4 「新作映画の予告編」に対応

補充活動

てるてる坊主の作り方

Pre-Listening

Step 1

Step 2

Step 3

How to Make Ten-Ken Baku

(1) Make a () with some ().

(2) () the ball with () tissue.

(3) () a string () its neck.

(4) () its face with a ().

◎ Hang it () your ().

(2)

音声を読んで、空欄を埋めよう。

(1) First, () () () with some tissue.

(2) To a string () () () neck.

リスニング

50～80語程度の短いリスニング教材です。1つの音声をくり返し聞きながら、内容理解を深める構成になっています。

リーディング

LessonやGoal Activity [Read]に関連した短い読みものの教材です。多読などに活用できます。

例 リスニング教材

アクティビティ

Worksheet

誰にあげたいものは

Yuki Ken

Fuku Mayo Lisa

M. and Mrs. Chris Yutaka Hiroki

give A B (AにBをあげる) / send A B (AにBを送る) / buy A B (AにBを買ってあげる)
lend A B (AにBを貸す) / teach A B (AにBを教える)
hope / decide / borrow / a birthday / look / 15 yen / 100 yen / cash / 1,000 yen / all / a piece of cake / a birthday card / a Christmas card / a bouquet / (アース) / medicine

Plus

問A: What was the best present in your life?
B: Well, it was an smart phone.
A: Who bought you the smart phone?
B: My grandfather did.

教科書の言語材料にあわせたコミュニケーション活動です。帯活動として手軽に取り入れられます。また、英語での指示例を掲載しているため、ALTとのチームティーチングにも活用できます。

例 2年 Lesson 5 Part 1の言語材料に対応

各単元の具体的な授業展開例や指導の留意点を紹介しています。

構成・掲載事項

単元全体のとびら

単元目標、単元で扱っている言語材料の一覧、指導展開の概要をまとめて提示しています。 → p.27

ページの解説 (2年 Lesson 5 Part 1)

→ pp.28 ~ 29

- 本時の目標 各パートの目標を提示しています。
- 指導手順 文法導入や各パートの指導手順の例を細かく提示しています。(各パートの授業における典型的な授業展開例は「①総説編」に掲載)
- ④ 指導の留意点 各パートを指導する際の留意点や、起こりやすい誤りなどを提示しています。
- ⑤ スローラーナーへの支援 スローラーナーが活動に取り組みやすくする手立てなどを提示しています。
- ⑥ 発話例 各パートの導入などを行う際の発話例です。
- 補充 教科書に掲載されている設問やタスク、語句・表現などの補充を提示しています。

Lesson 5

Visiting Australia

教科書 pp.57-65
記当時間 8時間



単元目標

◎ Goal Activity

海外からの旅行者に町や地域を訪れてもらうために、おすすめの場所やイベントについて、複数の詳しい情報をつけ加えながら、まとまりのある内容を話すことができる。

○ Small Talk Plus

話し相手と会話を続けてよりよい関係を築くために、聞き手が理解しやすいように伝える順序を工夫しながら、トークテーマについて即興で伝え合ったり、質問に応答したりすることができる。

言語材料

	文構造・文法	基本文
Part 1	<動詞 (show など) + A + B>	I will show you some pictures.
Part 2	<動詞 (call, make など) + A + B>	I am Elizabeth Jones. Please call me Betty. I like this picture. It makes me happy.
Side Story	<how + to + 動詞の原形>	I'll show you how to paint with the brushes.

本時の目標例

時	コーナー	教科書	本時の目標
第1～2時	とびら	p.57	◎オーストラリアについて関心を高める。
	Part 1	p.58	◎Scene 1を通して、SVOO (show など) の意味や使い方を理解する。 ◎SVOO (give など) を活用し、誕生日にあげるものについて話したり書いたりする。
	"	p.59	◎SVOO (show など) などを活用し、Scene 2の本文の内容を捉える。 ◎Partで学んだことを参考に、海外から日本に来た旅行者に紹介したい場所について話したり、書いたりする。
第3～4時	Part 2	p.60	◎Scene 1を通して、SVOC (make / call など) の意味や使い方を理解する。 ◎SVOC (make / call など) を活用し、どんなときにどんな気持ちになったか話したり、書いたりする。
	"	p.61	◎SVOC (make / call など) などを活用し、Scene 2の本文の内容を捉える。 ◎Partで学んだことを参考に、身近にある建物や場所の愛称について話したり、書いたりする。
第5時	Side Story	p.62	◎Side Storyを通して、I'll show you how to の意味や使い方を理解する。 ◎I'll show you how to の表現を活用し、作り方や演奏の仕方について話したり、書いたりする。
第6時	Small Talk Plus	p.63	◎トークテーマについて、即興でやり取りする。
第7～8時	Goal Activity	pp.64-65	◎町や地域の魅力を整理して、旅行者に紹介する動画を作る。

第1～2時 Part 1

教科書 pp.58-59

- 本時の目標**
- ◎ Scene 1を通して、SVOO (showなど)の意味や使い方を理解する。
 - ◎ SVOO (showなど)を活用し、誕生日に贈るものについて話したり書いたりする。

1 Warm-up (Small Talk)

旅行に行ってみみたい国について、ペアで会話する。

指導の留意点

- ・前時の復習である。パートナーを何度か変えて、+1文を意識させて自由に会話を楽しませる。

スローラーナーへの支援

- ・ Where do you want to visit? What do you want to do?
I want to visit (). を板書しておく。

2 Scene 1 / 基本文

(1) 場面設定と (?)を確認する。

指導の留意点

- ・リスニングの前に、ケイトがオーストラリアから帰ってきたところであること、陸がケイトの写真を見ていることを場面として確認する。

(2) 音声などを聞き、「?」の解答を確認する。

指導の留意点

- ・「?」の解答は、You are wearing a coat and gloves. Was it cold? の文からわかる、南北半球の季節の違いである。

スローラーナーへの支援

- ・中央イラスト(ケイトがコートと手袋をしている)に注目させ、日本の季節との違和感を考えさせる。

(3) Pointを確認する。

指導の留意点

- ・「?」の解答とリスニングの文で使われているSVOOの文とは直接関わりはないので、左イラストから導入するとよい。Iがケイトでyouが陸であ

ることを確認し、イラストを示しながら Kate will show Riku some pictures. と言い換えるのもよい。

- ・ likeのような第3文型の動詞と違って、give (あげる) や show (見せる) という第4文型の動詞は動作の対象、あげる相手 (you) と、あげるもの (some pictures) の2つの目的語を一緒に伝える必要があること、語順が大切なことに注目させる。

板書例

I will give you. →何をあげるの? △
I will give some pictures. →誰にあげるの? △
I will give you some pictures. →完璧! ◎
あなたに写真をあげる
I will give some pictures you. →×
写真にあなたをあげる? 語順は大切!

- ・ giveを使った例文の方が、直接目的語と間接目的語の両方の必要性が伝わりやすいので、導入ではgiveを先に使いたい。その後、贈り物として誰に何をやる状況なのかがわかりやすい絵を用意して、showや teach, tell, singなどを練習に使う。

- ・ピクチャーカードを使ったドリル練習を行う。

例: 「骨折で入院した恵子+千羽鶴」
This is Keiko. We'll make her 1,000 paper cranes.
「数学の10点のテスト+悲しい顔の浩太」
This is Kota. I'll teach him math.

(4) 二次元コードを活用する。

3 Exercise

(1) Listenを行う。新出単語を確認する。

指導の留意点

- ・聞き取りを行う前に、話し手は花とマークの2人で

あること、プレゼントを贈る相手はジンであることを確認しておく。

- ・ New Wordsは選択肢として写真と一緒に出ているので、絵を指しながら一緒に音読して、文字と音声の確認を中心にする。
- ・ 1～2回聞かせた後、最後にスクリプトをモニターなどに示し、SVOOの文を中心に「誰が」「何を」するのかを確認しながら、解答する。

スローラーナーへの支援

- ・解答につながる文の部分をブランクにしたスクリプトを用意し、必要な場合は使わせる。

(2) Talkを行う。

指導の留意点

- ・ I'll give ... の文だけでなく、プレゼントを選んだ理由を追加させたい。
- ・教科書のキャラクターではなく、有名人やマンガのキャラクター、先生などに贈る設定にしてもよい。

スローラーナーへの支援

- ・活動の前にクラスで、ListenのA～Dの品物以外に、バースデープレゼントの定番の品物をいくつかあげておく。

(3) 話したことを書く。

指導の留意点

- ・本時の振り返りとして、Talkで話した「自分なら○○さんに□□をあげる/作ってあげる」の部分の英文を書かせる。タブレットなどを使って、できた英文を教師に送らせ、添削して返す。

スローラーナーへの支援

- ・Pointで説明した基本文の板書を残しておき、参考にさせる。
- ・スペルがわからない語彙については、単語のみタブレットを使って検索しても良いとする。

補充

p.58 Exercise [Talk] 語彙

プレゼントの例:

pen
pencil case

candy
chocolate
cup
key chain
some flowers
draw a picture

理由・根拠:

She loves chocolate.
He said he lost his rulers.
I heard (that) her pencil case broke.

p.58 Exercise 補充活動

- ▶ I will show you some pictures. (some picturesが新情報) I will show some pictures to you. (to youが新情報)の2文を比べて提示する。動詞によって I will buy you a bike. I will buy a bike for you. となる文があることも解説する。

- ▶指導書付属のワークシートを配布して、ドリル問題を授業内で時間を決めてやったり、家庭学習として課したりする。

- ▶(2)Talkのあと、ペアを作って、パートナーを喜ばすことを考えて会話を行わせる。

会話例: A: (Bがラーメン好きと聞いて)

I'll make you *miso ramen*.

B: Thank you.

p.60 Exercise [Speak] 語彙

気持ち:

happy
excited
sad
depressed
angry
sleepy
tired

場面・状況:

My grandmother bought me new shoes.
My cousin took me to a baseball game.
I studied hard, but I didn't do well on the exam.
The story of the movie was boring.
I lost my wallet.

授業で活用できるさまざまなデータを収録しています。

主な収録内容

テキストデータ	<ul style="list-style-type: none"> 教科書本文、資料 Further Reading の英文テキスト 本文の日本語訳 リスニングスクリプト
音声データ	<ul style="list-style-type: none"> リスニングタスクの音声 (Exercise, Take Action! Listen など)
単語・文法資料	<ul style="list-style-type: none"> 新出語句、連語表現、小学校で学習したとみなす語などの一覧 教科書で扱っている文構造・文法事項の一覧
指導・評価資料	<ul style="list-style-type: none"> 指導・学習内容一覧 [パート別] 目標と評価規準例 Can-Do リスト
イラストデータ	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物のイラスト Drill のイラスト
ワークシート	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート③～⑤のデータ
フォント	<ul style="list-style-type: none"> 三省堂オリジナルフォント「NCGothic」

別売「指導用 CD」には、教科書のすべての英文の音声を収録しています。



ことまな学校サポートサイト

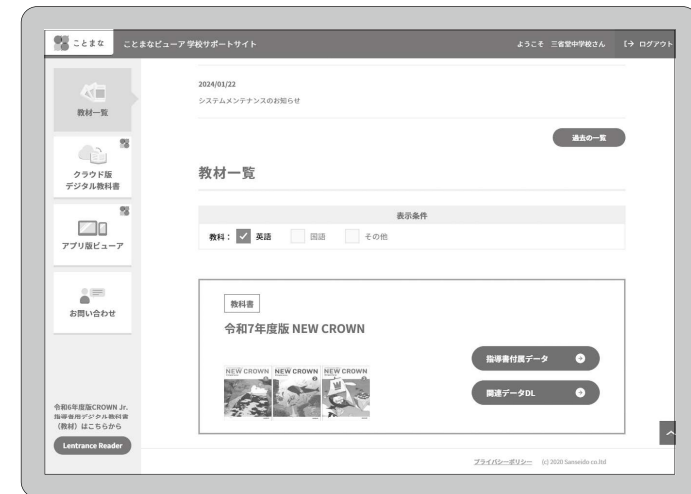
「ことまな学校サポートサイト」では、「⑧指導用データ DVD-ROM」のデータをはじめ、指導や評価に活用できるさまざまなデータを提供します。

こんなときに
便利!



- ・パソコンで DVD-ROM を読み込めない
- ・複数の先生で指導書を共有している

ログインしたら、
簡単操作で最新の教材データをダウンロード!



掲載予定のデータ

- ・⑧指導用データ DVD-ROM
- ・移行措置資料
- ・評価事例
- ・フレーズリーディング
- ・リテリングワークシート

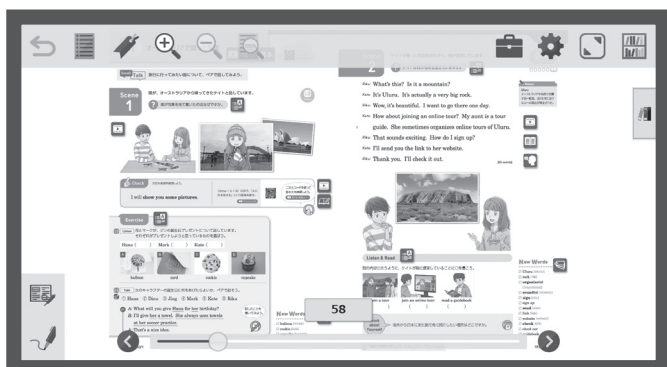
など

※ 指導書をご採用いただいている学校ごとの専用サイトです。ログインには ID とパスワードが必要です。

※ 画面は現在開発中のものです。予告なく変更となる可能性があります。

指導書用デジタル教科書（教材） 別売

好評の機能をリニューアル！ 豊富なコンテンツで授業準備の負担軽減と、スムーズな授業展開を支援します。



詳しくは
こちらから

主な収録コンテンツ

指導をサポートする

- ・ ピクチャーカード
- ・ フラッシュカード
- ・ 基本文の練習
- ・ リテリング
- ・ 解答例 など

動画

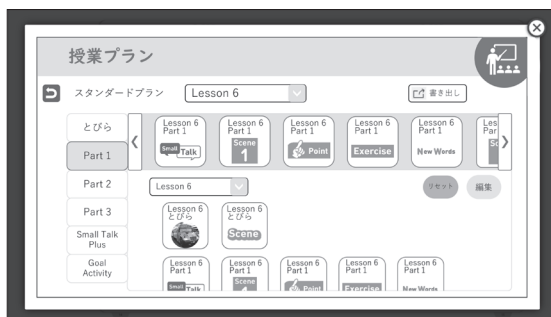
- ・ 題材の資料映像
- ・ 本文アニメーション
- ・ 発表のモデル動画
- ・ 文法解説動画
- ・ アルファベットの筆順動画 など

音声

- ・ 本文 ※カラオケやシャドーイング再生機能を搭載
- ・ リスニングタスク
- ・ 新出語句・表現

授業を支える新機能

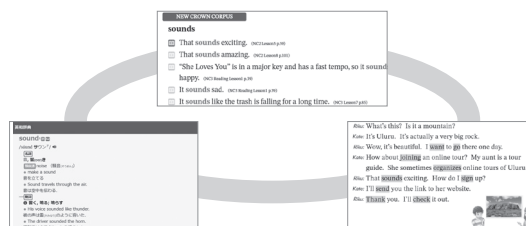
授業プラン



授業展開に合わせて、コンテンツを組み換えることができます。

NEW CROWN CORPUS

単語が使われている文を確認！



辞書で語義や用例を確認！ 単語が使われている文脈を確認！

教科書本文をデータベース化しました。特定の単語が使われている文を一覧で確認したりすることができます。

NEW CROWN についてもっと知りたい方は…



<https://tb.sanseido-publ.co.jp/07ncpr/>

この資料の内容に加え、編修趣意書、指導・学習内容一覧、デジタル教科書（教材）の体験版 など、さまざまな情報を掲載！

主な資料

- ・ 編修趣意書
- ・ 指導・学習内容一覧
- ・ 検討の観点と内容の特色
- ・ 内容解説資料
- ・ 別冊 しくみと使い方
- ・ 別冊 小中連携
- ・ 別冊 指導と評価 など

[Introduction]

There are different ways to visit other countries. Going to the country is fun, of course. Taking an online tour is fun, too. The pictures show a tour of Australia. Seeing koalas and visiting the Sydney Opera House are popular. If you want to see something amazing, visit the big rock of Uluru. Animals, cities, and nature. Australia has them all. Where do you want to visit? What do you want to do?



A:

- I want to visit France. I want to see the Eiffel Tower.
- I want to visit Asian countries. I want to eat various kinds of dishes.
- I want to visit Hokkaido in winter. I want to enjoy skiing.



A:

- Australia / Brazil / Canada / China / Egypt / France / Germany / Ghana / India / Italy / Kenya / Japan / Peru / Russia / Singapore / South Korea / Spain / Thailand / the U.K. / the U.S.A. / Turkey



Where do you want to visit? What do you want to do?



国の名前を英語でいくつ言える?

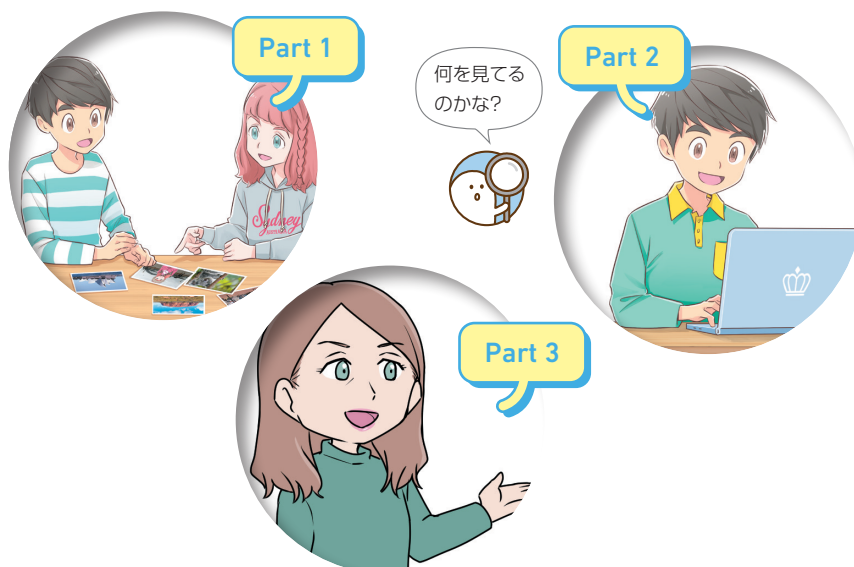
How many countries can you say in English?

Visiting Australia

Lesson Preview

Scene

Kate's aunt is an online tour guide. What can online tours show you?
 ケイトのおばさんは、オンラインツアーのガイドをしています。
 オンラインツアーでは、どんな体験ができるでしょうか。



Introduce your hometown to visitors from overseas. What place or event will you show them? Give details.

Goal Activity

複数の詳しい情報を付け加えて、町で訪れてほしい場所や体験してほしいイベントを、海外からの旅行者に紹介しよう。



Notes

is a big market in Sydney. / The Rocks Market. //
 in the market. //



Small Talk

No.5
4

旅行に行ってみたい国について、ペアで話してみよう。

Which country do you want to visit? Talk in pairs.

Scene 1

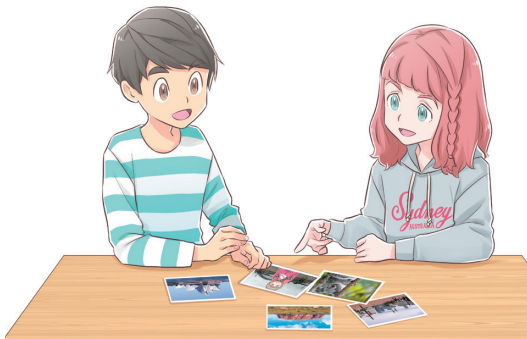
陸が、オーストラリアから帰ってきたケイトと話しています。

Kate returned from Australia. Riku talks with her about it.

? 陸が写真を見て驚いたのはなぜですか。 A: (写真の中のケイトが) コートと手袋を身に付けていたから。
Why was Riku surprised when he saw Kate's picture? A: (Kate in the photo) She was wearing a coat and gloves.



* Scriptは別掲



▶ Q&A (補充)

Why was Kate wearing a coat and gloves?

-(Because) It was the middle of winter in Australia.

▶ True or False

Kate visited her aunt in Sydney. (T)

Check

大切な表現を確認しよう。

No.5
5

I will show you some pictures.

<show + A + B> の形で、「AにBを見せる」という意味を表す。



二次元コードを使って基本文を練習しよう。

まとめ 資料 p.11

Focus p.66

Exercise

Hana and Mark talk about birthday presents for Jing.

What will each person give Jing? Match the person with the picture.

Listen 花とマークが、ジンの誕生日プレゼントについて話しています。それぞれがプレゼントしようと思っているものを選ぼう。

Hana (D) Mark (B) Kate (A)

No.5
6

No.2
3



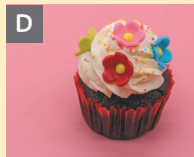
balloon



card



cookie



cupcake

What will you give each character for their birthdays? Talk in pairs.

次のキャラクターの誕生日に何をあげたらよいか、ペアで話そう。

① Hana ② Dinu ③ Jing ④ Mark ⑤ Kate ⑥ Riku

例 A: What will you give Hana for her birthday?
B: I'll give her a towel. She always uses towels at her soccer practice.
A: That's a nice idea.

No.5
7

話したことを書いてみよう。



[Script]

Hana: Mark, it's Jing's birthday today.

Mark: That's right. Are you going to give her a gift?

Hana: Yes, I baked her a special cupcake.

Mark: A cupcake! That's nice.

Hana: How about you, Mark? Are you giving her a gift, too?

Mark: I tried to make her a big cookie, but I burned it.

Hana: Oh dear.

Mark: So I wrote her a card instead.

Hana: Good idea. Oh, I heard Kate is going to give her a birthday balloon.

Mark: Jing will love it.

Hana: I hope she has a wonderful birthday.

No.5
8

New Words

balloon [bə'lʊ:n]

cookie [kʊki]

cupcake [kʌpkèik]

Scene
2

ケイトが撮った写真を見ながら、陸が質問しています。
Riku looks at Kate's picture and asks her questions.

? ケイトは何の写真を見せていますか。 A: ウルル(Uluru)
What picture does Kate show Riku?



Riku: What's this? Is it a mountain?

Kate: It's Uluru. It's actually a very big rock.

「実際には、なんと」の意味の副詞

Riku: Wow, it's beautiful. I want to go there one day.

「いつか」

Kate: How about joining an online tour? My aunt is a tour guide. She sometimes organizes online tours of Uluru.

Riku: That sounds exciting. How do I sign up?

sound + 形容詞「~のように聞こえる」

sign up for Aで「Aに申し込む」

Kate: I'll send you the link to her website.

send + A + Bで「AにB」を送るという意味を表す

Riku: Thank you. I'll check it out.

▶ Q&A (補充)

What does Kate's aunt do?

- She is a tour guide.

▶ True or False

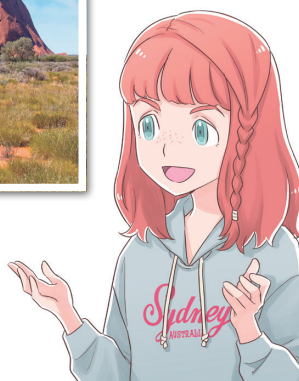
Uluru is a mountain. (F)

[65 words]

Notes

Uluru

オーストラリア中央部に位置する一枚岩。2019年にはウルルへの登山が禁止された。



Listen & Read

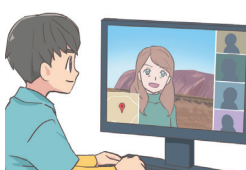
What does Kate suggest to Riku? Put O in the blank.

話の内容に合うように、ケイトが陸に提案していることに○を書こう。



join a tour

()



join an online tour

(O)



read a guidebook

()

Think
about
Yourself

Where do you want to show about Japan to visitors from overseas?

海外から日本に来た旅行者に紹介したい場所はどこですか。

(例) - I recommend Nara. It was Japan's ancient capital. You can see beautiful temples and shrines.
- Wakaba Ninja Park is the best choice. I'm sure many overseas tourists are interested in ninja.



Pay attention to the pronunciation of the underlined parts.

下線部の発音に注意しよう。⇨ mountain / how / sounds

/au/ /au/ /au/

New Words

- Uluru [ù:luru:]
- rock [rák]
- organize(s) [ó:rgənàiz(əz)]
- sound(s) [sáund(z)]
- sign [sáin]
- sign up
- send [sénd]
- link [líŋk]
- website [wébsáit]
- check [tjék]
- check out
- guidebook [gáidbùk]



Small Talk

No.5
11

旅行先でしてみたいことについて、ペアで話してみよう。

What do you want to do on your trip? Talk in pairs.

Scene 1

陸は、ケイトのおばさんが運営しているオンラインツアーに参加しています。

Kate's aunt, Betty, organizes online tours. Riku joins a tour.

? 陸が見ている画面には何が映っていますか。
What does Riku see on the screen?

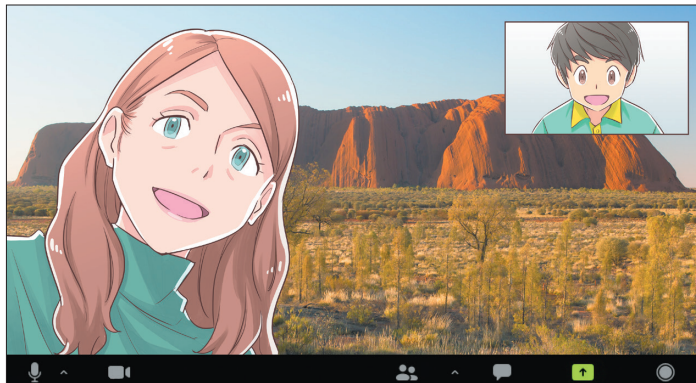
A: ウルル(Uluru) / ベティ(Betty) /
ケイトのおばさん(Kate's aunt) など



* Scriptは別掲



▶ Q&A (補充)
What is the name of the tour guide?
- It is Elizabeth Jones [Betty].
▶ True or False
Riku is joining the online tour of Sydney. (F)



Check

大切な表現を確認しよう。

No.5 12 I am Elizabeth Jones. Please **call me Betty**.
I like this picture. It **makes me happy**.

〈call + A + B〉の形で、「AをBと呼ぶ」という意味を表し、〈make + A + B〉の形で、「AをB(の状態)にする」という意味を表す。
Focus p.66

二次元コードを使って基本文を練習しよう。

まとめ 資料 p.11



Exercise

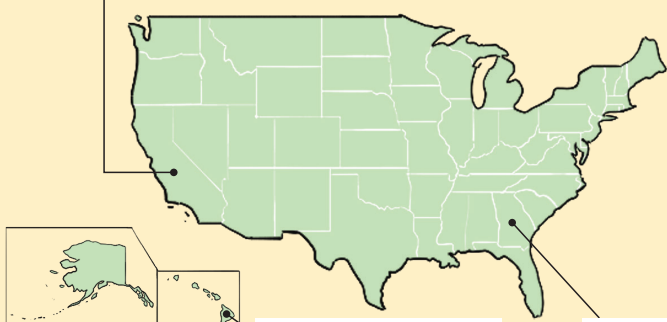
Mark talks about three U.S.A state nicknames. Match the nickname with the state.

Listen マークがアメリカの3つの州の愛称について話しています。それぞれの州の愛称を選ぼう。

No.5 13 No.2 4

① California (C)

* Scriptは別掲



② Hawaii (A)

③ Georgia (D)

- Ⓐ the Aloha State
- Ⓑ the First State
- Ⓒ the Golden State
- Ⓓ the Peach State

Talk about something you did. How did you feel about it?

例を参考にして、どんなときにどんな気持ちになったか話そう。

例 I won a ticket for the concert. It made me happy.

話したことを書いてみよう。



No.5 15

New Words

- call [kɔ:l]
- aloha [ə'lóuhə]
- state [stéit]
- golden [góuldən]
- ticket [tíkət]

Elizabeth [ilízəbəθ]
エリザベス (名前)

Jones [dʒóunz]
ジョーンズ (姓)

California [kæləfó:rnjə]
カリフォルニア (地名)

Hawaii [həwáii]
ハワイ (地名)

Georgia [dʒó:rjə]
ジョージア (地名)